

富士箱根伊豆国立公園 朝霧高原宿舎

普通地域（民有地）

宿舎

区域面積：2.0ha

最大宿泊者数：200名

執行予定者：民間

決定



朝霧高原

- 東側は牧草地越しの富士山展望に優れ、西側には天子山系の毛無山や長者ヶ岳がある。
- 富士吉田富士宮線道路を経由して、隣接する道の駅朝霧高原及びあさぎりフードパーク、南側に位置するドライブインもち屋、まかいの牧場等の周辺民間施設の通過型の利用が主となっている。
- 周辺には静岡県と富士宮市が執行しているキャンプ場、休暇村富士のコテージ、環境省の田貫湖ふれあい自然塾（ビジターセンター）があり、自然体験学習、自然探勝や登山に加え、ヘラブナ釣りなど多様な体験ができる場所である。

宿舎**区域面積：2.0ha****最大宿泊者数：200名****執行予定者：民間**

周辺の宿泊施設は、主要道路から離れて
小規模なものが点在

- 朝霧高原地域においては、市街化調整区域となっていることもあり、滞在型の利用のための宿泊施設が不足している。山梨県側とも連携して富士山西麓の利用を考えた際には、当該地域での宿泊施設の不足が一つの制限となっている。
- 富士吉田富士宮線道路を利用した通過型の利用が主となっているため、富士山の眺望に優れた宿泊施設を整備する。
- ドライブ利用の多い富士吉田富士宮線道路（国道139号）からは、途中に施設（道の駅・あさぎりフードパーク）を挟み隣接しておらず、予定する宿舎は二階建と高さが低く抑えられていることから、富士山の眺望への影響は小さい。

ホテル・駐車場の整備



ホテル・駐車場整備イメージ（予定）



整備予定地



自然環境への影響

平坦地であるため大幅な土地の形状の改変行為は想定されないこと、牧草地であり特に保護が必要な希少種は見られることから、整備に伴う自然環境への影響は小さい。